

がん対策のあゆみ

昭和 37 年	国立がんセンター設置
昭和 38 年	厚生省がん研究助成金
昭和 41 年	胃集団検診車の整備・運営の補助
昭和 42 年	子宮がん検診事業
昭和 56 年	悪性新生物が死亡原因の第一位となる
昭和 58 年	老人保健法施行
	※ 老人保健事業としてがん検診を実施 胃がん、子宮がんから開始し、 最終的には、 胃がん、子宮がん、肺がん、 乳がん、大腸がんの 5 部位に。
昭和 58 年	<u>対がん 10 カ年総合戦略（～平成 5 年）</u>
平成 6 年	<u>がん克服新 10 カ年戦略（～平成 15 年）</u>
平成 10 年	がん検診について一般財源化（地方交付税措置）
平成 16 年	<u>第 3 次対がん総合戦略（～平成 25 年）</u>
平成 17 年	健康フロンティア戦略（～平成 26 年）
平成 17 年 4 月	「がん医療水準均てん化に関する検討会」報告書
平成 17 年 5 月	がん対策推進本部の設置（厚生労働省）
平成 17 年 8 月	がん対策推進アクションプラン 2005 の公表
平成 18 年 4 月	がん対策推進室の設置（厚生労働省健康局総務課）
平成 18 年 6 月	がん対策基本法 成立